

2022年4月26日

上牧町と日産自動車、電気自動車を活用し脱炭素化と防災力強化に向けて連携 ～『ブルー・スイッチ』178件目、EVを活用した連携協定を締結～

上牧町(奈良県北葛城郡上牧町、町長:今中 富夫)と、日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:内田 誠)、奈良日産自動車株式会社(本社:奈良県大和郡山市小泉町、社長:田代 雄亮)の3者は、26日、電気自動車及び再生可能エネルギーを核とした災害に強いカーボンニュートラルな地域づくりに係る包括連携協定を締結しました。

本協定は、「走る蓄電池」となる電気自動車(EV)や再生可能エネルギーの普及推進により、災害に強いカーボンニュートラルな地域づくりを進め、上牧町の地域の活性化及び住民サービスの向上を図る協定で、ゼロ・エミッション社会の実現を目指す日産の『ブルー・スイッチ』活動としては178件目の取り組みとなります。

【協定の経緯・背景】

上牧町では、「上牧町第5次総合計画(後期基本計画)」の推進にあたり、将来にわたる大きなテーマとして「持続可能な社会の実現」を新たに掲げ、各基本施策レベルで「関連するSDGs」を設定しており、環境対策、再生可能エネルギーの普及、地域活性化、防災対策などの取り組みを進めており、当該計画において掲げている将来像「ほほ笑みあふれる和のまちづくり」と「持続可能で強靱なまちづくり」の実現に向けて、今後、より一層SDGs推進にも積極的に取り組みます。

一方、日産自動車は、電気自動車(EV)ならではの新たな価値やワクワクを提供し続けるとともに、2018年5月より、電気自動車(EV)の普及を通じて、環境、災害対策、エネルギーマネジメント、観光、地方での交通課題などの地域課題解決を目指す、日本電動化アクション『ブルー・スイッチ』を、全国の自治体や企業、販売会社と共に推進しています。また、2030年代早期には、主要市場で投入する新型車すべてを電動車両にすることを宣言、電動化をリードしながら、SDGsの達成やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速しています。

この日産自動車が進める『ブルー・スイッチ』、そして、上牧町が進める環境・防災対策やSDGsの推進と、双方の取り組みにお互いが賛同し、本協定の締結を行う運びとなりました。



【協定の概要と主な連携内容】

本協定の概要は、以下の通りです。

- 上牧町は町の脱炭素化に向け、温室効果ガスの削減対策として有効な電気自動車(EV)の計画的な整備や町内の電気自動車(EV)普及に向けた諸施策を実施する。また、日産自動車、奈良日産自動車と共に、環境教育の実施及び町のイベント等で使用する電力を電気自動車(EV)から供給するなど、電気自動車(EV)の「走る蓄電池」としての活用を町民へ積極的にアピールし、環境意識向上を目指す。
- 上牧町はカーボンニュートラルな地域づくりのため、再生可能エネルギーの普及に努め、日産自動車及び奈良日産自動車は、再生可能エネルギーの利活用に効果的な電気自動車(EV)の使い方、データ等の情報を提供するなど、上牧町の取り組みに協力する。
- 上牧町で災害を起因とする停電が発生した際、町が指定する避難所等に、奈良日産自動車の店舗に配備している電気自動車「日産リーフ」を無償で貸与し、電気自動車(EV)からの給電により、災害時にも避難所等で継続して電力が供給できる体制を整え、町民の生命及び身体の安全を守る。
- 上牧町、日産自動車及び奈良日産自動車は、これら電気自動車(EV)を活用した様々なイベントへの協力、環境教育の実施、また、交通安全への取り組みなどを通じ、上牧町全体の活性化に努める。



脱炭素化と強靱化に貢献する電気自動車「日産リーフ」

上牧町は、今後、公用車として電気自動車「日産リーフ」や、電気自動車(EV)から電気を取り出す可搬型給電器を導入する計画で、環境に優しい電気自動車(EV)の普及を目指し、環境・防災力向上に努めていきます。

上牧町と日産自動車は、本協定締結を機に、電気自動車(EV)を活用した、環境に優しく災害に強い持続可能なまちづくりを推進し、美しい自然環境を未来に残すため、電気自動車(EV)の普及を通じた地域課題の解決、脱炭素化社会実現、SDGs 達成に向けて、更に連携を強化してまいります。

以 上

First Contact Nissan Technology: <https://www3.nissan.co.jp/first-contact-technology.html>

日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」: <https://www3.nissan.co.jp/first-contact-technology/blue-switch.html>